

作家



『ごはんのことばかり100話とちょっと』
よしもとばなな著 朝日文庫 2013

台湾の小籠包、友達が焼いてくれるパン、父・吉本隆明さんが見つけたお弁当...。4年で書き溜めた103話と3つのレシピ。食べるしあわせを噛み締められる1冊。

『文学はおいしい。』

小山鉄郎著 作品社 2018

100の文学作品に登場する食べ物や飲み物の歴史などを紹介。美味しそうな食べ物も数々の名作も一気に楽しめます。挿画は漫画家のハルノ宵子さん。よしもとばななさんのお姉さんです。

『白洲家の晩ごはん』

牧山桂子著 新潮社 2015

白洲次郎・正子の娘であり、料理番として数々のごはんを作ってきた著者。両親とのエピソード、定番のレシピ、お気に入りの食器なども公開されています。



『作家の食卓』

コロナ・ブックス 平凡社 2005

「食いしん坊作家たちのアラカルト事典」では作家それぞれの好物やエピソードをメニュー別に紹介。作家ごとのページでは、檀一雄のいきいきとした様子に、こちらも楽しい気持ちに。ほかの文豪たちも負けず劣らずの熱量で、食に一途な彼らを身近に感じることができます。

『作家の口福』

『作家の口福 おかわり』

恩田陸他 朝日文庫 2011,2016

続編も含めて40名の作家が描く、自分だけのご馳走。作家ごとに視点が違うので、好みの合いそうな人が見つかるかもしれません

『文学ご馳走帖』

野瀬泰申著

幻冬舎新書 2016

食べることに焦点を合わせて読むと、1回読んだ本にも再発見があるかも？あの食べものはいつ頃どうやって生まれたか、この食べ方をするのは関西だけなのか...などなど、各種文献を頼りに解き明かします！

『わるい食べもの』

千早茜著 集英社 2018

世の中にはいい食べものがありすぎる！わるい食べものにこそ奥深さがあったりして...。洋菓子などの甘いものはもちろん、おかがごはんといった素朴なものまで。食べることを全力で楽しむ気持ちが前面に出た1冊。

はと時計 11月号

たべもの エッセイ

食欲の秋。読むとお腹がすいちゃうような珠玉のエッセイを集めました。いろんなひとが描いた“食べ物”を味わってみませんか？

松蔭中高図書館
2020年11月2日発行
library@shoin-jhs.ac.jp
担当：高田

エッセイスト

『もの食う本』木村衣有子著 ちくま文庫 2011

食べるシーンに注目して読んだ本40冊を紹介。日本を代表する文豪の小説から、ドラマ・映画化されたあの漫画まで、あらゆる種類の「食う」を網羅。

『こいしいたべもの』森下典子著 文春文庫 2017

表紙のホットケーキがとっても美味しそう 鳩サプレーやダクワーズ、クリーム白玉あんみつなどお菓子が多めのラインナップ。『日々是好日』著者による、たべものにまつわるしあわせな記憶。

『味なメニュー』平松洋子著 新潮文庫 2018

土鍋で提供されるシチュー、551の豚まん、駅やデパ地下のジューススタンド...お品書きから読み解いた、お店への愛がぎゅぎゅっと詰まった真摯なエッセイ。



『パタをひとさじ、玉子を3コ』

石井好子著 河出書房新社 2011

1950年代、パリで歌手として活動していた著者。その時期に食いしん坊になったそう 国内外問わず、思い出と共に語られる食べもの、全部美味しそうです。

マンガ家

『くいいじ』
安野モヨコ著
文春文庫 2013



『パスタざらい』
ヤマザキマリ著
新潮新書 2019

マンガ家ならではのエピソード(≠切前の食事、編集者さんの差し入れセンスetc.)だけでなく、日常の美味しいものも食欲に語る、食欲暴走エッセイ。

イタリアで暮らすこと35年。イタリアンだいすきなかな、と思いきや、世界にはパスタよりもっと美味しいものがある！と豪語。各地で食べたご馳走を綴った1冊。



タレント

『たべたいの』

壇蜜著 新潮新書 2017

「食べ物に対する情熱が低い上に、それほど造詣も深くない」と言いつつも、毎回クスッとさせられる壇蜜節が炸裂。あらゆるたべものへの考察、俳句、イラストを詰め込んだ盛りだくさんのエッセイ集。



料理家

『日々ごはん ~』

高山なおみ著

アノニマ・スタジオ 2004~

簡単そうなのに、絶対美味しいだろうなあ、と想像できるメニューたち。毎日の気持ちや体調の変化、友達と行ったお店など、高山さんの暮らしを綴った日記。2018年から神戸在住、現在もHPで更新中です。

詩人

『もぐ』最果タビ著

産業編集センター 2017

神戸出身の詩人による偏愛エッセイ。目次にも勢いを感じます！深夜2時、「ひひひ」と言いながら温めた食パンに高級チョコを並べ、溶けたものを無心に頬張る著者。背徳感にうっとり、味覚のしもべと化した姿は清々しく、なんだかとってもキュートです。

スタイリスト

『台所の二ホヘト』

伊藤まさこ著 新潮社 2013

テーマは「家事」。台所大好きな著者が紹介してくれるごはん周辺いろいろ。写真も美しく、こんなごはん作ってみたいな、もし自分だったらどんな食器を選ぶかな、と想像が膨らみます。眺めているだけでも元気が出てきますよ